

政治委員會報告

時 昭和九年七月六日
 所 東京、日本労働總同盟本部
 出席 九名
 審議事項
 全産聯團體保險反對運動に對する件、本年度大會議案に就て、外三件

評議員會報告 第二回評議員會

十一、勞資懇談會報告

産業協力運動は一つの國民運動として、日本産業の健全なる發展に寄與しつゝある。此の實賤の一步を踏み出したのは、福岡縣に於ける我が國最初の勞資懇談會である。協同會常務理事吉田茂氏、福岡縣知事小栗一雄氏の異常な努力によつて昨年四月福岡市に第一回懇談會が開催され、以來回を重ねる事四回、今日北九州に於ける六十余工場の代表者と、労働組合側は組合會議九州地方協議會加盟團體の代表者が参加し、隔意なき意見の交換をなし、今や勞資共懇談會に對する關心は昂められ、回を重ねるごとに、その規模は擴大し、極めて有意義なるものとし重視されて居る。

時 昭和九年八月二十六日
 所 大阪、日本海員組合川口支部
 出席 二十名
 審議事項
 大會議案に就て、大會期日に就て、大會會場年度大會開催に關する諸事項、全産聯團體保險反對、國營保險要求に關する決議、自主的労働組合の敵御用組合排撃に關する聲明其他二件

尙本組合よりも、左の通り出席した

第三回勞資懇談會

日時 昭和九年一月二十九日午後一時

會場 福岡市因幡町福岡縣教育會館

本組合より出席者、嶺 慶二、濱橋文作

第四回勞資懇談會

日時 昭和九年五月十九日午前十時

會場 福岡市因幡町教育會館

本組合よりの出席者、土佐野愛藏、嶺 慶二、谷口友太郎、猪野兼義

十二、教育運動報告

教育運動は労働組合の基礎的條件であることは云ふまでもなることで、今日のごとく、日本主義乃至國家主義の名の下に公正なる要求と批判の俾れてをる時、正しい信念と認識をもたしむる爲めにも、教育運動は等閑視出来ないものである。

特に本組合は、國家、國防上重要な製鐵産業に組織を持つて居るので、場當りな、定見なき迎合主義的運動は嚴として慎しまねばならぬことは綱領にも明らかであるが、國民生活本位の上に立ち、國家産業の健全なる發達を基調とせる産業協力精神の徹底化——即ち健實なる労働組合主義の確立は、本組合活動の基本である、教育運動、亦こゝにあるのである。

創立來一ヶ年、組織運動に諸會合に、又組合結成來組合員諸君の要望であつた機關紙の發行によつて毎號組合の指導理論及び當面せる諸問題に對する組合態度乃至は時事問題の解説等を行ひ組合意識昂揚に努力して來たが未だ充分なる實績の擧がらざるを遺憾とする、今後組織の整備と共に一層教育部の活動を活潑に行きたい。

尙組織途上に於て、多忙の中に左の通り意義深き座談會を開催した。

第一回座談會

日時 昭和八年十一月十七日

場所 大谷會館

第十七回國際労働總會日本労働代表阪本幸三郎氏報告座談會

日時 昭和九年二月十日

場所 大谷會館

産業協力座談會

講師 伊藤卯四郎氏

第三回座談會

日時 昭和九年七月五日

場所 大谷會館

日本労働組合會議濱田議長に物を聞く會